

## 大規模地震発生時の被害を防止または軽減するため 4月1日、「早期地震警報システム」を導入します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、2007年4月1日（日）から、大規模地震発生時の被害を防止または軽減するための「早期地震警報システム」を導入します。

これは、地震の初期微動（P波）を観測し、その後に来る大きな揺れ（S波）の規模や到達時間を事前に知らせる気象庁の「緊急地震速報」を当社の運輸指令所・世田谷線管区で受信して、震度4以上の大規模地震が予想される場合には、列車無線で警報音と地震警報メッセージを全列車に一斉通報し、運転士のブレーキ操作により、列車を緊急停止させるシステムです。

初期微動観測後、大きな揺れが来る前に速やかに全列車へ一斉通報することで、列車を迅速に停止させて、地震による被害を防止または軽減することを目的としています。

早期地震警報システムの概要は以下の通りです。

### 早期地震警報システムの概要

導 入 日 2007年4月1日（日）

通 報 方 法 ・ 東横線、目黒線、田園都市線、大井町線、池上線、東急多摩川線、こどもの国線は  
運輸指令所から全列車へ自動一斉通報  
・ 世田谷線は世田谷線管区から係員が一斉通報

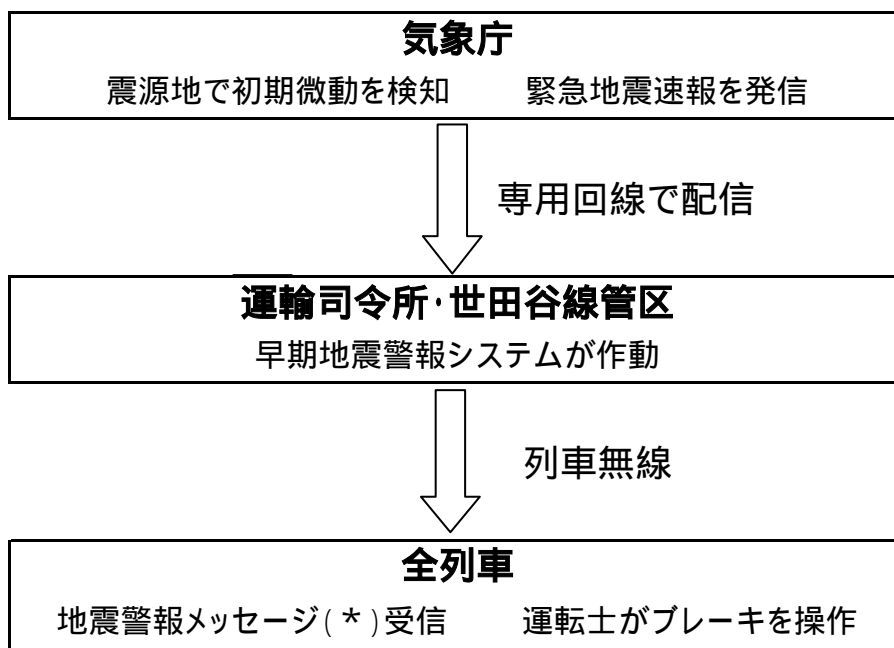
列車停止方法 通報を受けた運転士のブレーキ操作による緊急停止

処 理 時 間 約2秒（緊急地震速報受信から列車無線による通報開始までの時間）

以 上

(別紙)

## 早期地震警報システムの仕組み



\* 地震警報メッセージ「地震が発生します。全列車停止せよ。指示あるまで停止せよ。」